

<自主的努力項目記入書式>

提携先	京北食品株式会社	記入日	2009/12/26
登録消費材名	小粒カップ納豆		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

原料大豆は、北海道産『スズマル大豆』を使い続けており、容器は、紙カップを使用していますが、2008年初頭から大豆と容器の原材料価格が急騰し、12月から一部値上げをさせて頂きました。その際、①販売価格を出来るだけ抑えよう②値上げ時期が12月からになった為、翌年早々にはいつも通り新豆価格も平常に戻るであろうとの予測から、実質原価上昇分の30%の値上げとなりました。しかし2009年に入っても他の国産大豆の価格は下がっても人気の『スズマル大豆』価格は殆んど下がらず非常に厳しい経営をよぎなくされています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

2009年度のスズマル大豆の価格形成は、過去の経験則を全く覆したのになり商品相場の怖さを思い知らされました。今までと同じ様に価格急騰の翌年は平常に戻るであろうという安易な判断ミスを反省しています。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

当社の原料大豆の購入は、当用買いですので、2010年度は、値下がりが見込めますが、しばらく入札状況を見守りながら年度目標を決め、価格動向をしっかりと見極めてから納入価格の変更をお願いしたいと考えております。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	京北食品株式会社	記入日	2009/12/26
登録消費材名	小粒納豆(ケ) 納豆(ケ)		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

小粒納豆は、埼玉単協のご要望に基づき共同開発した納豆です。他の生協やスーパーで売っていない美味しい納豆を開発しようということで、試行錯誤の結果、大豆は茨城県産『地塚大豆』容器は『松経木』の組み合わせに決定しました。地塚大豆は、納豆小粒とも言われアメリカで納豆専用大豆の生産をする際の種となった定評のある大豆です。小粒で独特な関東平野の土の臭いのする大豆と松の経木の風味が相まって、個性的な味の全て手造りの納豆が誕生しました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

地塚大豆は、人気のわりに生産量が少ない為、気候不順や投機等の影響を過剰に受けやすく、今までも価格急騰騒動を何度も経験してきました。2008年は、リーマンショックの影響をもろに受け、2009年も一般的な国産大豆の入札価格が下がる中、地塚大豆とスズマル大豆は高止まりで推移しました。ただ『原料の量の確保』に関しては、現在の納品数量ですと今後も当分の間問題はないと思います。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

2010年度は、北海道産スズマルと同じく仕入れ価格の下落待ちです。値下がり巾をしっかりと見極め購入価格に反映させようと思います。